

⑦2 DXパーク等を開設しインフラ分野で取り組むDXを 建設業から一般の方まで幅広く広報

受賞機関 国土交通省 関東地方整備局 関東技術事務所 関東DX・i-Construction人材育成センター

キーワード 建設技術展示館、関東DX・i-Construction人材育成センター、DXパーク

全建賞審査委員会の評価ポイント

インフラで取り組むDXの体験型広報の取組。誰でも楽しくDX技術が学べる体験型コンテンツによる展開と出張型DXパークによる広報活動である点や、建設業から一般の方まで幅広く広報を実施している点が評価された。

1. はじめに

関東地方整備局では、国民の暮らしを支える建設技術に関係者に幅広く情報発信するとともに、一般の方々や次世代を担う若い方にも建設技術への関心と理解を深めてもらう場として、関東技術事務所の構内（千葉県松戸市）に常設の「建設技術展示館」を開設している。

建設技術展示館では、新しい建設技術や関係機関の取組等について、パネル、映像や模型等で分かりやすく展示し、技術者はもとより、学生から一般の方まで幅広い層の方々に「見て」、「触れて」、「体験して学べる（知る）」体験型施設として、平成11年の開館より約28万人の方々に来館いただいている。

関東DX・i-Construction人材育成センターでは、インフラ分野のDX推進に向けた人材育成を進めるとともに、令和3年8月に建設技術展示館内にDXパークを開設して「誰でも楽しくDX技術が学べる」体験型コンテンツを用意し、建設業から一般の方まで幅広く広報している。



DXパーク（建設技術展示館内）

2. 事業の概要

DXパークの体験型コンテンツとして、その場で測量してデジタル点群データを体感する「レーザースキャナ体験」、測量作業の省力化を体験する「トータルステーション体験」に加えて、令和5年度より、3次元モデルの利便性を実感してもらう「BIM/CIM操作体験」、仮想空間の有用性を感じてもらう「VR体験」のコンテンツも拡充している。

体験では、参加者が気軽に楽しめるように、ゲーム的な要素も取り入れながら実施している。

また、外部で実施される展示会等に「出張DXパーク」として出展し、来場者に対して、建設技術展示館の紹介やDX体験を通じた積極的な広報活動を行っている。



DXパーク（レーザースキャナ体験）

3. 事業の成果

DXパークの開設以降、官公庁や建設業を含む民間企業、学生など多くの方々に利用いただいている。特に、体験型コンテンツを拡充した令和5年度からは利用者も増加しており、現在も多数の予約をいただいている。また、近隣の方が歩いて来館し、DXパークを見学するケースもあり、建設技術展示館が地域とのコミュニケーションの形成にも役立っていると考えている。

4. おわりに

建設技術展示館の利用者に対しては、DXパークでの体験を通してインフラ分野のDX技術に興味や関心を持っていただき、より専門的な知識習得は、関東DX・i-Construction人材育成センター主催の講習会等の参加を推奨している。今後のインフラ分野のDX推進に向けて、体験内容を随時改善しながら、引き続き積極的な広報に努めて参りたい。